

基本計画（文章化）の記載内容について

資料3

該当する基本方針に色付け

暮らし つながり 生活環境 成長 分野8 地域福祉

基本政策1 住み慣れた地域での安心した心地よい暮らしの実現

【基本政策の方向性】

市民が、生活の拠点である住み慣れた地域に根ざし、共に生きるまちづくりの精神を発揮しながら安心・充実した生活を送ることができ、心地よい暮らしの実現を目指します。

5年後の目指す姿

「地域住民が助け合って生活する“まち”」

地域住民、福祉関係機関等さまざまな人や団体が、助け合いながら生活できる住みよいまちづくりを進めます。

【数値目標】	現状値	目標値
市の福祉施策（福祉のまちづくり）に関する満足度	56.1% (H30)	⇒ 70% (R7)

基本施策

1-1 自立に向けた支援

一人ひとりが、安心した生活を送れるよう支援し、自立できることを目指します。

【KPI】	現状値	目標値
生活保護制度における保護率	1.55% (H30)	⇒ 1.33% (R7)

【主な取組】相談・支援体制の充実

生活サポートセンター☆ふじみにて行われている生活困窮者、その家族等への相談・支援体制を充実します。

【KSF】	現状値	目標値
生活サポートセンター☆ふじみでのファン作成件数	56件 (H30)	⇒ 80件 (R7)

1-2 共に支え合う仕組みづくり

住民同士、住民と福祉関係機関等さまざまな人や団体が、住みよい“まち”となることを目指し、共に支え合う仕組みづくりを進めます。

【KPI】	現状値	目標値
地域活動への参加状況（参加したことがない）	40.1% (H30)	⇒ 38.5% (R7)

【主な取組】避難行動要支援者制度の拡充

災害時に自力で避難することが困難な方が、地域での支え合いにより避難できるよう制度の拡充に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
年間外部提供同意者数	50人 (H30)	⇒ 75人 (R7)

分野8 地域福祉

1-3 公的サービスの充実

自らの力や地域での支え合いだけでは解決できない生活課題に対し、その課題に合った公的サービスを適用できるように職員のスキル向上などを行うことで、公的サービスを充実します。

【KPI】	現状値	目標値
担当職員一人当たりの月平均訪問件数	17.6件 (H29)	⇒ 20.0件 (H30)

【主な取組】庁内関係部署を中心とした情報共有、各担当者のスキルの維持・向上

公的サービスを必要とする方が、適切なサービスを利用できるよう関係部署間での情報共有や各担当者のスキルの維持・向上を図っていきます。

【KSF】	現状値	目標値
健康福祉部内での勉強会の回数	8回 (R元)	⇒ 12回 (R7)

関連するSDGsゴール

11 災害時に脆弱な立場にある人が、地域の支え合いにより避難行動が取れるシステムを拡充していきます。 関連ターゲット（11-5）

8 地域の支え合い、適切な公助の適用等により虐待による暴力の低下に寄与していきます。 関連ターゲット（16-1、16-2）

17 民生委員・児童委員や社会福祉協議会、社会福祉活動団体など地域福祉活動の担い手との連携を強化し、ともに生きるまちづくりに取り組みます。 関連ターゲット（17-17）

関連計画等

第3次富士見市地域福祉計画（令和3年度～令和7年度）

関連部署

健康福祉部福祉課

関連部署を記載

主な取組はロジックに記載のものから1つ選定し、記載取組内容がわかるように記載 ※取組から記載（具体的取組ではない）

記載した取組に係るKSFを記載

関連するゴールを記載 どのように取組むのかを端的に記載している。また、関連ターゲットも記載している。

関連計画を記載

基本政策の方向性を記載 「基本方針」を目指すものとして記載している。

5年後の目指す姿について説明を記載 何を目標しているのかわかるように記載

基本政策に係る数値目標を記載

基本施策は行政として目指すもののため、基本方針内容を目指すものとして記載

基本施策に係るKPIを記載